

ツアーール  
「2R」とは

リサイクルとリユースの  
頭文字からとっているっぴ。



こたえ ×

「くらしとごみ」17ページに  
どんな風を書いてあるかな？



ここが  
ポイント！



もし、地球がごみでいっぱいになってしまったら、どうしましょう？ 地球を守り、<sup>かぎ</sup>限られた<sup>しげん</sup>資源を大  
うめ立て<sup>しよぶんち</sup>処分地を長持ちさせるためには、まずはごみになるものを<sup>へ</sup>減らす「リデュース」と、  
大切に使う「リユース」、そして<sup>しげん</sup>資源として活用する「リサイクル」の取り組みが大切です。  
中でも「リデュース」「リユース」の「<sup>ツアーール</sup>2R」の取り組みが特に大切です。

ツアーール      リデュース      リユース  
**2R... Reduce** と **Reuse** の頭文字  
ごみになるものを減らす      くり返し大切に使う



英語で書いたら  
どっちも「R」で  
はじまるんだこゃ！

なんで  
まず「2R」が  
大切なん？



リサイクルはとても大切な取り組みです。しかし、リデュースやリユースに比べて、<sup>くら</sup>回収したも  
のを<sup>せいひん</sup>運んだり、<sup>か</sup>製品化したりするときに、<sup>ねんりょう</sup>電気や<sup>ねんりょう</sup>燃料などのエネルギーが多く<sup>ひつよう</sup>必要です。ごみを<sup>へ</sup>減  
らすためには、より<sup>かんきょう</sup>環境にやさしいリデュースやリユースの<sup>ツアーール</sup>2Rに<sup>とく</sup>取り組むことが大切です。

3つの取り組みのうち、特に大切な「<sup>ツアーール</sup>2R」は、  
「リデュース」と「リユース」ですね！  
皆さんでこの2つにしっかり取り組めば、  
ごみはもっと<sup>へ</sup>減らせそうですよ。

かいせつ  
するよ！



ちょっと、ひっかけ問題だったかな。よく思い出してみてくださいね。  
「リデュース（ごみになるものを<sup>へ</sup>減らす）」「リユース（くり返し大切に使う）」  
「リサイクル（<sup>しげん</sup>資源として活用する）」の3つのうち、どれがまず大切だった  
でしょうか。

「リサイクル」もとても大切な取り組みですが、<sup>しげん</sup>資源としてもう一度使える形にするには、  
多くの<sup>ねんりょう</sup>電気や<sup>ねんりょう</sup>燃料が必要となります。より、<sup>かんきょう</sup>環境にやさしい「リユース」「リデュース」に  
まず<sup>ツアーール</sup>取り組んでほしいので、「まずは2R、その次にリサイクル」と<sup>おぼ</sup>覚えてくださいね。